
バトルスピリッツ 光と闇のヴルムノヴァ

龍神グラフィ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バトルスピリッツ

光と闇のヴルムノヴァ

【Nコード】

N3489Y

【作者名】

龍神グラフィア

【あらすじ】

未来で引き金となつてきえてしまった馬神弾

彼が今、この世界に帰ってくる！

どーもグラフィアです！

この小説は、

バトルスピリッツブレイヴを知っている人向けに描いています。

苦手な人はバックを勧めます

では読んでみてください。ちなみにこのタイトルは意味ありません。

ブローグ

まい side

弾、あなたはいつこのせかいに帰ってくるの？

早く帰ってきて、カレーを作ってあげるから　ね？

いつまでも待っているからね、弾！！！！

馬神弾 side

此処は………そうか、俺はあのバトルでバローネに勝って、引き金になったんだっけ？

まい、ごめんな、約束守れなかった。本当にごめん。

俺はそんな事を思っていると、辺りが急に明るくなった。　　うわ、眩しい！！

おそろおそろ目を開けるとそこは海で深さは膝ぐらいだった。砂浜へ上が ろうと歩き出すと見慣れた後ろ姿を見つけた。 髪を切ったのか長さは違っけど間違いない。

『帰ってきたのか』

俺は空を見上げて小さくお礼を言った。 そしてずっと会いたいと思ってた人の元へと向かう。

side out

「見ててね、ダン」

そう呟いて海を背にする。 すると後の方で水がバシャバシャと音をたてる

「帰る…」

音を気にしないで歩き出すと今度聞こえてきたのはサッサツと砂浜を蹴って走るような音。音の持ち主は私の近くで止まった。

なんか怖いな…。

暗いというだけで恐怖感がどんどん高まりなかなか振り向けなかった。音の持ち主は一步ずつゆっくり私に近づいてくる。

「バトスピやろうぜ」

思わず肩がビクツとなる。なぜならこのセリフに聞き覚えがあるから。

あれは私がダンを呼びに行った時に言ったもので、誰も知るはずがない。

ゆっくり振り返るとそこには優しい笑みを浮かべたダンがいた。

「ダン…?」

「バトスピやろうぜ、まあ」

「う…そ。ダン…なの?」

「ああ」

私の目の前にダンがいる…　ずっと会いたいと願っていたダンがいる。

まゐはダンの胸に走った。

「本当に？本当にダンなの？」

「そうだよ」

「夢じゃない？」

まゐは信じられないといった顔で俺をまじまじと見た。

「こうやって俺に触れてるだろ？」

「…っ会いたかった！」

涙を流し再び抱きついてきたまゐを俺はそつと抱きしめ気になっていたことを聞いた。

「髪…切ったのか？」

ダンは以前より短くなった髪を触りながら聞いてきた。

「もう満足したから、いろいろと。でも一番の理由は、光主として旅して た頃からソフィア号にいた時までの思い出が…あなたでいっぱいだったから…」

「…そうか。ごめんな」

「謝らないで？髪なんてまた伸ばせばいいのよ」

「でも…」

「ダン^ダは髪、長い方が好きなの？」

「長くても短くても、俺が好きなのはお前だけだよ」

「ダン…」

ダンはまゐの肩に手を置くと真剣な表情になった。

「まゐ、待たせてごめんな」

「ううん」

「…ただいま」

「おかえり、ダン」

見つめ合った二人はお互い微笑み合い優しいキスを交わした

設定（前書き）

まいのいが変換できない

o r z

設定

馬神弾

バトルスピリッツブレイヴの主人公 別名激突王

未来の戦いで引き金となつてきえてしまった。 でもマザーコ

アのおかげで帰ってこれた。 元の世界に帰ってくる時に誰

だかわからないが十二宮の×レアを渡された。

まいとは付き合っている？

性格はブレイヴの時より冷めた性格になっている

使用デッキ

ノヴァデッキ

ブレイヴデッキ（サジット軸）

星魂

紫乃宮まい

バトルスピリッツブレイヴのヒロイン

未来で弾を失って以来、バトルスピリッツを見るだけであるときの事を思い出してしまふ。しかし弾が帰ってきてからはそれは無くなっている。

弾のためならなんでもする。

学校ではとても人気がある

性格はブレイヴの時と同じだが、昔のヴィオレの性格が少し混ざっている

使用デッキ

なし

世界設定

ブレイヴが弾たちの世界にも新しく出来ている
バーストはまだ先 今後出す予定。

設定（後書き）

次からストーリーです

新キャラ募集します！

第一話（前書き）

駄作ですが、見てください

第一話

弾side

あれから一年の時間が流れた。

まさかまたブレイヴが使えるなんてな

で今小学生とバトルをしている。

『ジークヴルムノヴァでとどめ!』

『ライフで……………』

『君のデッキの構築すごいいいよ。頑ん!ありがとうございます!』
!..!』

『弾君、もう、かえっていいわよ』

『わかりました』

『さてと帰るか』

・・前

にもこんなことがあったような・・・

ま、いいか。

『弾、お疲れ様！』

『あ、まい、待っててくれたのか？』

『うん、弾と少しでも長くいたいし』

今話しているのは紫之宮 まい

俺の彼女、いや、恋人だ。

帰り道

『弾、
』

『なんだ、まい
』

『もう、いなくなったりしないよね？……』

『またそれか、もう、お前をおいてはいかない。絶対に……』

『そう…約束よ？』

『ああ……』

まいの家の前

『んじゃ、また』

『じゃあね弾。』

さてと俺も帰るか

『光龍騎神サジット・アポロドラゴン・・・』

こいつには、世話になった

『サジツト、これからも宜しくな。
……俺は、もう、まいを悲しませる訳にはいかない』

その時、光龍騎神サジツト・アポロドラゴンが光ったような気がした。

次の日

学校

『ここはテストで出るから覚えておくように。』

キンコンカンコン

『では今日はここまで！』

『起立。礼、着席』

ガヤガヤ、

『ふう、やっと終わった。』

『なあ、弾』

『なんだ、恭介か。』

こいつは河野恭介、俺のライバルかな？

『いいかげんまいさんに俺の事紹介しろよ！』

まだ まいの事諦めていなかったのか……

『無理、まいはもう、俺の者だし』

『何だと貴様！こうなったら、バトルで決着だ！！』

『…………お前、そのセリフ何回め？まあいいや、暇だからバトルし

てやるよ』

『カードショップでバトル!』

そして

『光龍騎神サジット・アポロドラゴンの合体時効果、ブレイヴの数だけ、b p 1 0 0 0 0 以下のスピリットをはかいする。俺はお前の場の麒麟星獣リートを破壊する』

『ブロッカーいない!!--』

『とどめだ。サジット・アポロドラゴン

』くそーーー』

いいかげん諦めろ。

おや？

いつの間にかギャラリーが増えている

『流石激突王！！』

『もう。付き合っている人が、……私の弾様が！！』

『もういいかげん、諦めろ。まいは俺のだ』

『畜生、』

恭介はそういつて去っていく

さてと帰るか

『弾！』

『まい！見ていたのか』

『たまたま、ここにきたから、そしたらあなたがバトルしていて。さっきのバトル圧勝だったね。』

『……でもまだ足りない。あのバトルフィールドでの戦い。またやりたい』

『……弾、そんな事言わないで。またあなたがなくなったら私もう……』

『まい……』

『私ははつきり言うと、バトルスピリッツ大嫌い。だって弾を一度死なせとようなものだし』

『まい、でも俺はここにいる』

『弾……』

『まい、……そうだ、まい、今日暇か？』

『え？暇だけど……』

『そうか、俺の家に来ないか？』

『あなた私に変な事するつもりじゃあないでしょうね／＼』

まいは顔を赤くして言う、く、可愛い。

『べ、別にそんな事じゃ／＼』

『そう？ボソツ　ま、弾にならなにされても、』

『？　何か言っただ？』

『なんでもないわ。じゃあ行こう弾！』

『ああ』

弾の家

『相変わらず、バトスピばかりね。クスクス』

『悪かったな。俺にとっては三番目に大事な物なんだから』

『一番目は？』

『まい、お前だよ』

『弾、ありがとう』

俺はまいを優しく抱きしめる

『お前は誰にも渡さない。絶対！』

『弾／＼／』

この時間だけ長く感じた

第一話（後書き）

次回は、まいにストーリーカー？

弾、怒りのダークヴルムノヴァー！！

お楽しみに

まいにストーカー

前編（前書き）

きゃあ、やっちゃまった。

後半、弾が狼になります。お気をつけて

まいにストーカー

前編

まい side

今学校帰り

『じゃあね、まい』

『じゃあね、』

私は友達と別れた。

さてと帰りに弾の家に寄っていつ

??? 『ストーカー』 side

あれがネットアイドル、ヴィオレまいたん はあはは・・・

まいたん何処に住んでいるかな？ Twitterで掴んだ情報によると、この辺らしい。

・・・よし、後をつけるか！

まい side

??、何だろう、変な視線を感じる。速く弾の家に行こう。

私は歩くのを速めた。

やっぱり、つけられている。助けて、弾!!

??? side

まいたんまってよー はあはあ
んにしてあげるからね。ぐひひ

絶対君を、僕のお嫁さ

まい side

あれから結構走った。何とか振りきれたみたい。
の前だ。やっとなつた
。 あ、弾の家

弾なら、何とかしてくれるよね。

私は弾の家のドアを開ける

『弾！助けて！』

弾side

今俺は、ノヴァデッキを改造している

『うーん、やっぱり、安定性を高めるためにサイレントウォールは三枚積みにして、えーとそれから、』

『弾！助けて！』

急にドアが開いて、まいが抱きついてきた

『うわ！・・・まいか どうした急に』

『グス、実は……………』

まいに話を聞く

『成る程、ストーカーか、許せない』

『弾、どうすればいい？』

まいが上目遣いで聞いてくる。く、可愛いじゃないか。キスしたくなる。我慢だ我慢

『とりあえず、今日は俺の家に泊まっていけ。まだストーカーがいるかもしれない！』

『……弾も大胆ね。』

『馬鹿ノノそんなじゃない』

ちなみにいい忘れていたが、俺の両親は海外に出張している。
だからいつも1人

『解ったわ、お母さんにメールをうっておく』

『ああ、明日は休みだ。ゆっくりしていけ。』

『うん・・・ あ、このデッキって、確か弾とバトルしたとき私が使ったダブルノヴァ……懐かしいな』

『ああ、今改造していたんだ。どうしても事故率が高いし。
それにしても、あのときはびっくりしたな。いきなり告白してくるし。』

『馬鹿ノノあのときはつい、あなたが、あの闘いで引き金を引くの止めたくって。え、きゃ!』

気がついたら俺はまいを押し倒していた

『ちょっと弾!どつしたの急に、離して!』

俺はこんなことを言っていた……

『まい、もう、俺はもう限界だ。俺とブレイヴしてくれ。』

『・・・いつかこんなことがあるのを覚悟はしていた、私でよかつたら、そのかわり優しくしてね。／／／』

『まい／／／』

俺とまいは一つになっていた・・・

まいにストーカー

前編（後書き）

次回、ストーカーと決着！

デッキレシピ ダブルノヴァ

ダブルノヴァのレシピです

スピリット

ブレイドラ 3

ヤシウム 2

超新星龍ジーク・ヴルムノヴァ 2

極龍帝ジーク・ソルフリード 2

雷皇龍ジーク・ヴルム 2

ソウルホース 3

ピジョン・ヘディレス 3

ソードール 3

滅神星龍ダーク・ヴルムノヴァ 2

ジーク・ヴルムヴェガ 2

マジック

エクストラドロー 2

ビックバンエナジー 3

サイレントウォール 3

デルタバリア 2

サジッタフレイム 2

メテオストーム 2

ブレイヴ

ペンドラゴン 3

ネクサス

灼熱の谷 1

です。できるだけアニメに近づけました。ブレイドラは定番ですよ
ね w

ちよくちよく変わりますが……基本はこれです
何かあったら言ってくれと助かります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3489y/>

バトルスピリッツ 光と闇のグルムノヴァ

2011年11月17日19時15分発行